



「青春18×2 君へと続く道」 × 「只見高校」

7月5日(金)、「『青春18×2 君へと続く道』×『只見高校』18年後に開封するタイムカプセル企画」が行われました。只見町が企画した本事業では、只見町がロケ地の1つとなった映画「青春18×2 君へと続く道」の内容を踏まえ、生徒全員が「18年後の自分へ」をテーマに手紙を書き、タイムカプセルに収めました。この手紙は只見町が保管し、18年後(2042年)、手紙の開封やそれに伴う映画の上映などを予定しています。

それぞれが18年後の自分を想像しながら思い思いに手紙を書いており、自分の進路や只見町の将来について考えるとともに、上記映画の舞台ともなった只見町の良さに改めて気づく良い機会になったのではないのでしょうか。



専用の原稿用紙に、18年後の自分へ向けて手紙を書く生徒

◎ 映画「青春18×2 君へと続く道」について

【概要】

映画『余命10年』の藤井道人監督による、日本・台湾を舞台にした新たな傑作ラブストーリー。主人公アミの生まれ故郷が只見町であり、実際に只見町がロケ地の1つとなりました。

【あらすじ】

始まりは18年前の台湾。カラオケ店でバイトする高校生・ジミー(シュー・グァンハン)は、日本から来たバックパッカー・アミ(清原果耶)と出会う。天真爛漫な彼女と過ごすうち、恋心を抱いていくジミー。しかし、突然アミが帰国することに。意気消沈するジミーに、アミはある約束を提案する。

時が経ち、現在。人生につまずき故郷に戻ってきたジミーは、かつてアミから届いた絵ハガキを再び手に取る。初恋の記憶がよみがえり、あの日の約束を果たそうと彼女が生まれ育った日本への旅を決意するジミー。東京から鎌倉・長野・新潟・そしてアミの故郷・福島へと向かう。

※ 映画「青春18×2 君へと続く道」公式HPより
(<https://happinet-phantom.com/seishun18x2/>)

「とうほう・ふるさと総活躍応援私募債」寄贈式

5月27日（月）に「とうほう・ふるさと総活躍応援私募債」寄贈式が校長室にて行われ、寄贈指定者である株式会社社会津工場様より、スポットクーラーをはじめとする学校用品を寄贈いただきました。

寄贈式では、寄贈者を代表して株式会社東邦銀行常務執行役員会津営業部長 澤田 誓 様より、本私募債等の説明があった後、本校OBでもある株式会社社会津工場 代表取締役社長 鈴木 直記 様より、学校長及び生徒会長の小杉美菜さんへ目録が贈呈されました。

頂いた寄贈品は、本校生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、最大限活用させていただきます。誠にありがとうございました。

◎「とうほう・ふるさと総活躍応援私募債」

…株式会社東邦銀行の寄附型私募債で、手数料の一部で地域の学校や施設等への寄贈を行うもの。



寄贈式の様子



スポットクーラーとビッグファンは、夏場の熱中症対策として体育館及び格技場で稼働しています。

第1回進路講演会（電源開発株式会社 栗崎 夏代子 様）

6月14日（金）に第1回進路講演会が行われ、講師として、電源開発株式会社より審議役兼水力発電部東日本支店長 栗崎 夏代子 様にお越しいただきました。

本講演では、「J-POWERの電力事業を通してみなさんへ伝えたいこと」と題し、課題に直面した際チームで解決することの重要性や、それにより得られる喜び、そして、最後までやり抜く覚悟の大切さなどを栗崎様よりお話しいただき、生徒は自身の今後の進路活動と結びつけて理解することができた様子でした。お忙しい中、ご講演いただきました栗崎様、本当にありがとうございました。



講演の様子



質疑応答



お礼の言葉



電源開発株式会社 田子倉電力所
公認マスコット「ナームりん」

ケータイ・スマホ安全教室

6月7日（金）に、ケータイ・スマホ安全教室が開かれました。

今では多くの人々が使用しているケータイ・スマホですが、便利な反面、使い方を間違えると危険な目に遭ってしまう可能性もあります。そのような被害に遭わないようにするため、普段の使い方やどのような点に注意すべきかなどを生徒全員で確認しました。教室内では、生徒同士で話し合いながら実際にケータイ・スマホを操作し、安全なより良い使い方について理解を深めることができました。



安全教室の様子

読書ボランティア（只見保育所）

7月17日（水）、只見保育所にて読書ボランティアを行いました。

今回が初めての開催となった本ボランティアは、図書委員会及び希望する生徒が参加し、人形を使用した絵本の読み聞かせや、生徒自作の紙芝居の読み聞かせなどを行いました。

今後も各地区保育所・ホームにてボランティアを開催していく予定であり、この他、事業所等から本校へ要望があった場合も、是非開催したいとのことです。



絵本の読み聞かせ



生徒自作の紙芝居

中学生体験入学

7月26日（金）に中学生体験入学が実施され、県内外から中学生3年生と保護者の方々にご参加いただきました。

当日の全体会では、本校の概況、学校行事及び生徒会活動についての説明や、パソコン班が作成した学校紹介動画の視聴等を行いました。その後は、実際に各教室にて体験授業（数学・理科・総探）を行い、希望する場合は、部活動の見学や生徒会の生徒と高校生活についての相談をしたりするなど、内容盛りだくさんの1日となりました。



全体会

数学

不思議な整数の謎を
解明しよう！



理科

高速！酵素反応！
（レバーに含まれる）
酵素を調べよう



総探

只見高校
「総合的な探究の時間」
の紹介



各体験授業

部活動大会結果報告

硬式野球部

- ◎第76回春季東北地区高等学校野球 会津支部大会
 - <1回戦> 只見 18 - 0 会津農林
 - <2回戦> 只見 12 - 9 会津
 - <準決勝> 只見 1 - 6 会津北嶺
 - <代表決定戦> 只見 0 - 7 会津工業
- ◎第65回春季全会津高等学校野球選手権大会
 - <1回戦> 只見 0 - 3 若松商業
- ◎第106回全国高等学校野球選手権 福島大会
 - <1回戦> 只見 3 - 2 郡山
 - <2回戦> 只見 2 - 1 学法福島
 - <3回戦> 只見 1 - 7 田村

卓球部

- ◎福島県高等学校体育大会 会津地区大会
 - ・女子シングルス：代表決定戦による選出（1名）以上、県大会出場権獲得
- ◎福島県高等学校体育大会
 - ・女子シングルス：1回戦敗退（1名）
- ◎会津総合スポーツ大会
 - ・少年女子団体：代表決定戦による選出（会津3位）
 - ・少年女子個人：ベスト8（2名）以上、県大会出場権獲得
- ◎福島県総合スポーツ大会
 - ・少年女子団体：1回戦敗退
 - ・少年女子個人：1回戦敗退（1名）
2回戦敗退（1名）

バレーボール部

- ◎第70回福島県高等学校体育大会 会津地区大会
 - <ブロックリーグ>
 - 只見 2-1 喜多方 只見 0-2 会津学鳳
 - <順位決定リーグ>
 - 只見 0-2 若松商業 只見 2-1 南会津
 - 只見 0-2 会津西陵 只見 1-2 葵
 （最終順位 7位）
- ◎第77回福島県総合スポーツ大会（ビーチバレー）
 - <2人制> 2回戦進出 1組
- ◎令和6年度全会津総合体育大会
 - <ブロックリーグ>
 - 只見 2-0 喜多方桐桜 只見 0-2 ザベリオ
 - <順位決定リーグ>
 - 只見 2-0 会津学鳳 只見 1-2 会津西陵
 - 只見 2-0 会津 只見 0-2 南会津
 （最終順位 7位）

剣道部

- ◎第70回福島県高等学校体育大会 会津地区大会
 - ・男子個人：ベスト8（1名） 県大会出場権獲得
 - ・女子団体：第3位 県大会出場権獲得
 - ・女子個人：第3位（1名） 県大会出場権獲得
ベスト8（1名） 県大会出場権獲得
- ◎第70回福島県高等学校体育大会
 - ・男子個人：1回戦敗退（1名）
 - ・女子団体：2回戦敗退
 - ・女子個人：ベスト8（1名）東北大会出場権獲得
1回戦敗退（1名）
- ◎第56回東北高等学校女子剣道選手権大会
 - ・女子個人：2回戦敗退
- ◎令和6年度全会津総合スポーツ大会
 - ・男子団体：第2位（会津学鳳高と合同） 県大会出場権獲得
 - ・男子個人：ベスト8（1名）
 - ・女子団体：第4位 県大会出場権獲得
 - ・女子個人：第3位（2名） 県大会出場権獲得
- ◎令和6年度福島県総合スポーツ大会
 - ・男子団体：2回戦敗退（会津学鳳高と合同）
 - ・女子団体：2回戦敗退
 - ・女子個人：1回戦敗退（2名）

2学期の主な行事予定

8月26日（月）	2学期始業式	
9月6日（金）	ミニ文化祭 第2回進路講演会	
9月24日（火）	生徒会役員選挙	
10月1日（火） ～3日（木）	2学期中間考査	
10月16日（水） ～19日（土）	修学旅行（2年）	
10月16日（水） ～17日（木）	職場体験（1年）	
10月18日（金）	遠足（1・3年）	
11月1日（金）	第2回避難訓練	
11月7日（木）	企業・大学見学会（2年）	
11月8日（金）	芸術鑑賞教室	
11月12日（火）	探究活動講演会	
11月26日（火） ～29日（金）	2学期期末考査	
12月17日（火）	冬季校内球技大会	
12月18日（水）	2学期終業式	

編集後記

今号の表紙を作成中、ふと10年前の自分が何を考えていたか思い出そうとすると、日記もつけていないため意外と覚えていないことに気づきました。写真は結構残っていたため何があったかはわかるのですが、自身が考えていたこととなると、やはり文章で記したものが欲しくなってきます。

私を含め、もし日ごろ日記をつける習慣の無い方がいらっしやれば、人生を振り返る1つの材料として、この機会に自分の想いを綴ってみるのも良いかもしれません。[石川]